

<肥料設計>

施用時期	区分	資材名	施用量(kg/10a)
定植1か月前	土壌改良材	牛ふん堆肥	4,000
		炭酸苦土石灰	140

パターン① ・肥効が長期間続くため(※天候により変動)、追肥作業の軽減が可能。

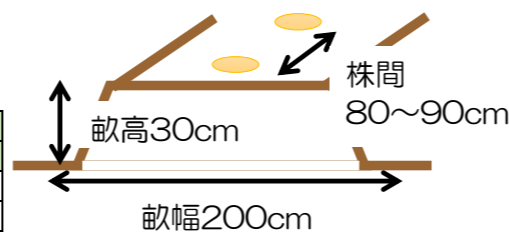
施用時期	区分	肥料名	施用量(kg/10a)	成分量(kg/10a)		
				N	P	K
定植1~2週間前	基肥	スーパーマグ33-11	20			
		(FTE)	(4)			
		夏秋ナス発2100(21-10-10)	220	46	22	22
		硫酸加里	10			5
8月中下旬以降(目安)	追肥(2週間おき)	NK化成2号(16-0-16)	20	3		3

※過剰施肥、または追肥開始遅れによる肥効切れにならないよう、追肥開始のタイミングは草勢を見て判断

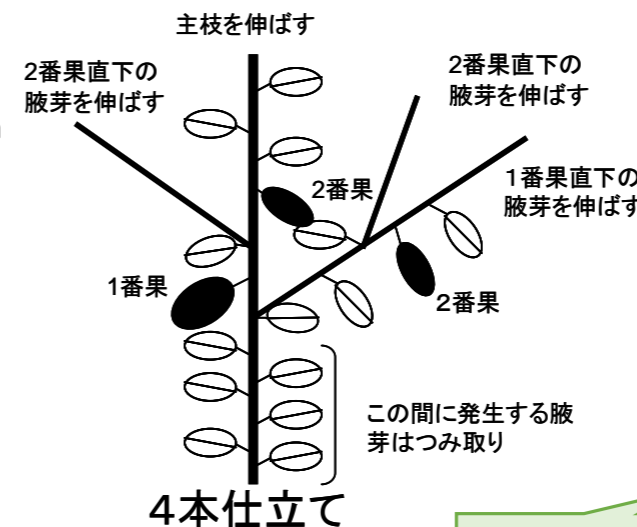
パターン② ・定期的な追肥作業が必要だが、生育に合わせた施肥管理が可能。

施用時期	区分	肥料名	施用量(kg/10a)	成分量(kg/10a)		
				N	P	K
定植1~2週間前	基肥	BMようりん(0-20-0)	40		8	
		スーパーマグ33-11	20			
		(FTE)	(4)			
		CDUs555(15-15-15)	100	15	15	15
		園芸化成250(12-15-10)	100	12	15	10
6月中旬以降	追肥(2週間おき)	NK化成2号(16-0-16)	20	3		3

<畝の立て方>



<仕立て方>



<収穫、整枝・剪定方法>

